

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は、2ヶ月に1度の頻度で実施していますが、地域の行事等には参加していません。その中で、具体的な介護の内容や、取組みについてまでは、現状報告に終始しており、具体的にご意見をいただくまでできていません。	日常生活の過ごし方や、お食事について等、地域の代表である皆様のご意見やご意向を反映することで、より介護の質の向上につながるアイデアをいただいたり、身近な施設として感じていただける契機ができないか模索をする。	運営推進会議の中で介護の内容について、しっかりと情報開示をする。運営推進会議の中で、資料を提示して、わかりやすい運営を心がける。ご意見が、介護に反映する柔軟さをもって運営する。	6ヶ月
2	20	ご本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援を心がけていますが、入居期間が長期化された方の支援については、現状では十分に支援できない面があります。	障がいの状態に関わらず、できるかぎり、ご本人の過ごしてこられた地域とのつながりを大切にしたい支援を、模索していきたい。	ケアカンファレンスを通じ、ご本人と地域の関係性について、お一人お一人アセスメントをしていきたい。	6ヶ月
3	26	介護計画について、どおしてもチームとして、意見交換を持つことが不十分となっている。計画の見直しや柔軟さをより積極的に行う必要があります。	介護計画の作成に、多くの職員が主体的に参加する形をつくりたい。	効率も考慮しながら、介護計画作成時に意見を取り入れる仕組みをつくりたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。